文字入力

文字入力について 344
かな方式で文字を入力する ..... モード 1(かな方式) 346
定型文を修正／登録する ..... 定型文登録 351
文字のコピー／切り取り／貼り付け 352
区点コードで入力する ..... 区点入力 353
よく使う単語を登録する ..... ユーザ辞書 353
学習履歴を初期状態に戻す ..... 学習履歴クリア 354
ダウンロードした辞書を使用する ..... ダウンロード辞書 354
2タッチ方式で文字を入力する ..... モード 2(2 タッチ方式) 355
T9 入力方式で文字を入力する ..... モード 3(T9 入力方式) 355

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同 CD-ROM 内の Adobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプをご覧ください。

文字入力について

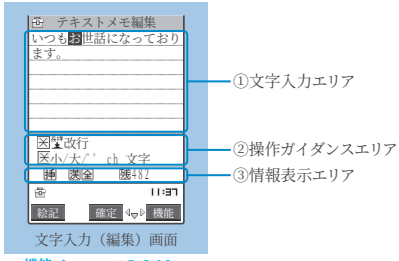
FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」「T9入力方式」の3方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

● 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。

「文字入力方式を設定する」→ P.345
「かな方式で文字を入力する」→P.346
「2タッチ方式で文字を入力する」→P.355
「T9入力方式で文字を入力する」→P.355

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。



文字入力（編集）画面

機能メニュー ➡P.349

①文字入力エリア

アイコン	説明
■	カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

②操作ガイダンスエリア

アイコン	説明
▲ ▼ 変換	で変換できるときに表示
▲ ▼ 全件 ▲ ▼ 検索	で電話帳検索ができるときに表示
◀ ▶ ▲ ▼ 領域	文字コピー（切り取り）の範囲指定時に表示
長押 改行	（1秒以上）で改行できるときに表示
小/大/゛゜	で入力した文字の小文字/大文字切り替え、濁点、半濁点が入力できるときに表示
AA→aa	を押してCapsLockモードを解除できるときに表示→P.348
aa→Aa	を押してShiftモードにできるときに表示→P.348
Aa→AA	を押してCapsLockモードにできるときに表示→P.348
逆順	かな方式で文字を入力中にで前の読みに戻せるときに表示 （例：え→う）
ch文字	で入力する文字種（漢 カナ 英 数）が切り替えられるときに表示

③情報表示エリア

アイコン	説明
2 あ	文字入力方式（2タッチ方式/T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
挿 上	挿入モード/上書きモード
漢 カナ 英 数	入力できる文字種
区	区点入力モード→P.353
全 半	全角モード/半角モード
小	小文字入力モード

アイコン	説明
Shift CAPS LOCK	「Shiftモード」または「CapsLockモード」のときに表示→P.348
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	FOMAカード電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

ガイダンス表示を設定する

お買い上げ時	ON

文字入力（編集）画面の操作ガイダンスエリア（P.344）を表示するかどうかを設定します。

1 MENU 3 5 ▶「ガイダンス表示」▶「ON」

■ 表示しない場合

▶「OFF」

分割画面について

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

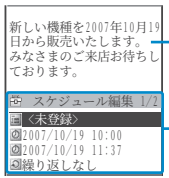
● 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。

・ｉモード画面からのスケジュール参照登録

・ｉモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力

・チャットメールのチャット画面

・文字編集から辞典検索を実行後の参照編集



ｉモード画面からのスケジュール参照登録

●操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

おしらせ

● 操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。

● 読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。ただし、英字入力モードで、# を押して「http://」などを入力する場合は、操作する画面の切り替えが可能です。そのとき、入力中の文字列が自動確定されます。

● 編集画面の表示中にｉモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。

● チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

文字入力方式を設定する

お買い上げ時	入力モード：モード1（かな方式）

3つの文字入力方式（かな方式／2タッチ方式／T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 MENU 3 5 ▶「入力モード」▶文字入力方式を選択

おしらせ

● 文字入力中にも設定を変更することができます。✉[絵記]を1秒以上押すか、機能メニューから「入力モード切替」を選択します。

文字入力サイズを切り替える

お買い上げ時	標準

文字入力（編集）画面や、記号／顔文字／絵文字入力画面の文字サイズを「縮小／標準／拡大1／拡大2」の4種類から選択します。

1 MENU 3 5 ▶「入力サイズ切替」▶入力サイズを選択

おしらせ

● 本設定は新規メール画面（SMSは除く）や各プレビュー画面（SMSの送信プレビュー画面など一部除く）にも適用されます。

ワード予測を設定する

お買い上げ時	ON

ワード予測を利用するかしないか（ON／OFF）を設定します。

● お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。

1 MENU 3 5 ▶**「ワード予測」▶「ON」または「OFF」**

かな方式で文字を入力する　〈モード1（かな方式）〉

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行」の「あいうえお」の3番目なので、1を3回押します。

● 文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.394）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナなど、目的の文字に変換します。

●ワード予測を利用して入力する

ワード予測には、1文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。

＜例：「携帯電話」と入力する場合＞

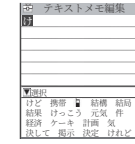
1 文字入力（編集）画面（P.344）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、ch で切り替えます。

2 読みの一部を入力

2 を4回
け

文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、1文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。



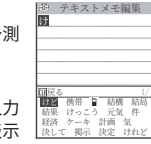
3 ●

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 入力したい文字が予測候補にない場合

CLR を押して読みの入力に戻り、読みの続きを入力すると、予測候補が変更されます。予測候補が表示されないときは変換機能を利用します。

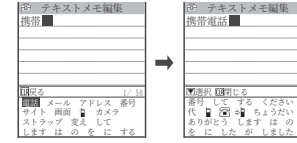
「入力したひらがなを変換する」→P.347



4 予測候補を選択

▶「携帯」を選択▶●▶「電話」を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。



■ 続けて予測候補から文字を入力する場合

▶●▶予測候補を選択

■ 予測候補表示を閉じる場合

▶α［閉］

おしらせ

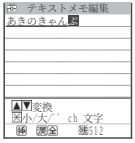
- 予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
- 漢字ひらがな入力モード以外では予測候補は表示されません。
- 学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転し CLR を1秒以上押すと削除できます（お買い上げ時に登録されている予測候補は元の位置に戻ります）。
  すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」でワード予測の学習履歴をクリアします。

●入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、ワード予測をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。

＜例：「秋のキャンプ」と入力する場合＞

❶ひらがなを入力



1を1回（あ） 2を2回（き） 5を5回（の） 2を2回（き）

8を4回（や(小文字)） 0を3回（ん） 6を3回（ふ） ¥を2回（゛(半濁点)）

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

▶↩

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

▶→またはもう一度そのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ ひらがなで確定する場合

▶●［確定］

❷入力した文字を編集する

▶α［変換］で漢字やカタカナなどに変換

最初の文節の変換候補が反転表示され、残りの未確定文字はアンダーライン（＿）で表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合

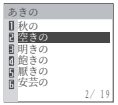
▶●［確定］

変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合

▶α［変換］で変換候補を表示▶変換する文字を選択

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。



変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合、数字も変換候補として表示されます。たとえば1 2 3と入力した場合、「123」という変換候補も表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

▶→で変換範囲を変更

変換した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合

▶✉［英数］

入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば2 3✉［英数］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。

日付（10/19など）や時刻（10:19など）として表示可能な2～4桁の数字は、その変換候補も表示されます。

おしらせ

- 変換候補の一覧に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
  変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
  - 「記号・特殊文字一覧」→P.396
  - 「絵文字一覧」→P.397
  - 「顔文字一覧」→P.400
- 記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.348）および文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.349）をご覧ください。
- 変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.353

● 文字数とスクロールについて

■ 残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

●文字数は、半角１文字が１バイト、全角１文字が２バイトとしてカウントされます。

●半角文字の濁点「ﾞ」と半濁点「ﾟ」は、１文字分としてカウントされます。

■ スクロールについて

文字入力（編集）画面では、[▲▼]で行単位、[▼]［MEMO／CHECK］、[▲]でページ単位のスクロールができます。

変換候補の一覧では、[▲▼]で行単位、[►]または[▼]［MEMO／CHECK］、[▲]でページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

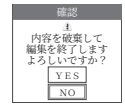
■ 電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.88

■ [⌐]を押した場合

文字の入力中に[⌐]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を１文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。



＜入力中の内容を保存しないで終了する場合＞

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

[⌐]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

＜文字の入力を続ける場合＞

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。

[CLR]を押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■ 音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、機能メニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
[ch]	●かな方式、T9入力方式では[ch]を押すたびに、入力する文字種が次のように切り替わります。 漢字ひらがな（漢全）→ カタカナ（ｶﾅ半）→ 英字（英半）→ 数字（数半） ※機能メニューから「全角切替」を選択すると、カタカナ・英字・数字は全角で切り替わります。 ●２タッチ方式では[ch]を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角（全）→ 半角（半）
[米]	●すでに入力した文字の「小文字／大文字」を切り替えます。 ●T9入力方式の英字入力では[米]を押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 Shiftモード→CapsLockモード→モード解除 ・ Shiftモード：モードを切り替えた直後の１文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shiftモードが解除されます）。 ・ CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ・ モード解除：すべて小文字で入力されます。 ※操作ガイダンスエリアに以下のアイコンが表示されているときのみ有効です。 [米]Aa→AA／AA→aa／aa→Aa
[米]（１秒以上）	改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。

ボタン	説明
✉［絵記］	絵文字や記号を連続して入力します。絵文字・記号の一覧表示中は✉［絵記］を押すたびに、次のように切り替わります。 絵文字1入力 → 絵文字2入力 → 絵文字D入力※→ 全角記号入力 → 特殊記号入力 → 半角記号入力 ※：絵文字D（デコメ絵文字）の一覧は、iモードメール本文入力画面でのみ表示されます。 連続入力を終了するときはCLRを押します。 記号・特殊文字一覧→P.396 絵文字一覧→P.397
✉［絵記］（1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 ✉［絵記］（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式 → 2タッチ方式 → T9入力方式
↩	同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。
↩（1秒以上）	入力した文字を1つ前の状態に戻します。
↓	カーソルが文末にあるとき、→を押すとスペースが入力され、↓を押すと改行マークが入力されます。

おしらせ

＜✉［絵記］（絵文字記号連続入力）＞

- 絵文字1、絵文字2、デコメ絵文字（絵文字D）、全角記号、特殊記号、半角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。機能メニューから「絵文字入力」や「記号入力」を選択したときも絵文字・記号は記憶されます。
- α［全面］を押すと、全画面表示に切り替わり、「絵文字入力」または「記号入力」に移行します。

機能 文字入力（編集）画面

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶以下の項目から選択

顔文字入力……顔文字一覧を表示します。
▶顔文字を選択
顔文字一覧では反転した顔文字が2行表示になり、読み（意味）も表示されます。

小文字切替⇔大文字切替……これから入力する文字の「小文字／大文字」を切り替えます。

半角切替⇔全角切替……半角／全角を切り替えます。

コピー・切り取り・貼り付け……「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.352

定型文入力……「定型文を入力する」→P.350

スペース入力……スペース（空白）を入力します。
漢字ひらがな・カタカナ入力モードの場合は#を押して↩、英字入力モードの場合は1を押して↩を押しても入力できます。

改行入力……改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。
*(1秒以上)を押したとき、および文末で↓を押したときと同じ機能です。
→P.348

記号入力……記号・特殊文字一覧を表示します。
▶記号を選択

絵文字入力……絵文字一覧を表示します。
▶絵文字を選択

区点入力……「区点コードで入力する」→P.353

上書きモード⇔挿入モード……「上書きモード」と「挿入モード」を切り替えます。
文字を入力すると、「挿入モード」ではカーソルの前に文字が挿入され、「上書きモード」ではカーソルの位置に文字が上書きされます。文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

データ引用……各種データを引用入力します。

- **電話帳引用・マイプロフィール引用**……「電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する」→P.351
- **バーコードリーダー**……「コードを読み取る」→P.162

辞典検索……辞典を起動します。→P.336

ワード予測OFF⇔ワード予測ON……ワード予測のOFF／ONを設定します。→P.346

入力モード切替……文字入力方式（かな方式／2タッチ方式／T9入力方式）を切り替えます。✉［絵記］（1秒以上）を押したときと同じ機能です。

次ページにつづく

T9かな変換モード⇔T9漢字変換モード……T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字をかなに変換するか、漢字に変換するかを設定します。

JUMP……カーソルを文頭または文末へ移動します。

UNDO……入力した文字を1つ前の状態に戻します。

ウィンドウ切替……分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.345

おしらせ

＜顔文字入力＞
- 選択した顔文字は、次回顔文字を一覧表示したときに最初に表示されます。

＜スペース入力＞
- 全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入され、ともに1文字分として文字数にカウントされます。

＜改行入力＞
- 改行マーク「↵」は文字と同じように削除したり上書きできます。
- 改行マーク「↵」は、全角1文字分として文字数にカウントされます。ただし、SMS本文入力では改行のカウント方法が異なります。→P.238
- iモードのテキストボックスでは、改行マーク「↵」を入力できない場合があります。

＜記号入力＞
- メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。
- 半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。
- 記号・特殊文字一覧表示中でも絵文字を入力することができます。一覧表示中は✉を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 記号・特殊文字一覧を表示後でも、α[連続]を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

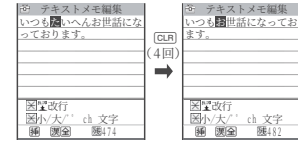
＜絵文字入力＞
- 絵文字1、絵文字2、デコメ絵文字（絵文字D）それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字が表示されます。
- 絵文字一覧表示中でも記号・特殊文字を入力することができます。一覧表示中は✉を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 絵文字一覧を表示後でも、α[連続]を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

＜入力モード切替＞
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

＜T9かな変換モード／T9漢字変換モード＞
- 設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「T9変換モード」で設定した変換モードに戻ります。

文字を削除する

✣で削除したい文字にカーソルを合わせ、CLRを短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。



■ カーソル上に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■ CLRを1秒以上押した場合

カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

■ カーソルより右側に文字がないときにCLRを1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

定型文を入力する

- お買い上げ時に登録されている「固定定型文」については、P.401をご覧ください。

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「定型文入力」▶フォルダを選択

❷ 定型文を選択▶● ［選択］

おしらせ

- 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
  - テキストメモ
  - 定型文
  - 定型文のフォルダ名
  - 自動振分け設定の題名入力
  - メール検索の題名入力
  - iモードのテキストボックスでの編集
  - iアプリでの文字編集
  - 辞典
  - iモードメールの題名
  - iモードメールの本文
  - iモードメールの冒頭文
  - iモードメールの署名
  - iモードメールの引用符
  - スケジュール
  - アラーム
  - To Doリスト

・ウェイクアップのメッセージ

- 固定定型文は文字入力方式によって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は文字入力方式にかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。
  - かな方式、T9入力方式：漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
    漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
  - 2タッチ方式：全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
    半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。

電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する

メール、サイト、テキストメモなどの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「マイプロフィール」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモを引用して入力します。カメラを起動してバーコードを読み取り、引用することもできます。

- 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「データ引用」▶以下の項目から選択

電話帳引用……▶「グループ検索」、「行検索」または「全検索」を選択▶引用したい電話帳を検索▶○で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

マイプロフィール引用……▶端末暗証番号を入力▶○で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

バーコードリーダー……「コードを読み取る」→P.162

おしらせ

- 住所を引用する場合は、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

＜マイプロフィール引用＞

- 住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
- 所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

定型文を修正／登録する 〈定型文登録〉

よく使う言葉をあらかじめ定型文として登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。

- 定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。
  フォルダ1～2には、お買い上げ時に固定定型文がそれぞれ10件登録されています。→P.401
  フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
- 固定定型文の内容は修正することもできます。
- フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

新しい定型文を作成する

❶ MENU 3 8
「定型文フォルダー覧画面」が表示されます。

定型文フォルダー覧画面
機能メニュー➡P.352

❷ **フォルダを選択**
「定型文一覧画面」が表示されます。

❸ **「＜未登録＞」を反転▶✉［編集］▶定型文を入力**
全角64文字、半角128文字まで入力できます。

定型文一覧画面
機能メニュー➡P.352

次ページにつづく

おしらせ

- メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。i モードメールを他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 固定定型文は、文字入力方式がかな方式またはT9 入力方式の「漢字ひらがな入力モード」、2タッチ方式の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

機能 定型文フォルダー一覧画面

❶ 定型文フォルダー一覧画面（P.351）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ名編集……フォルダ名を変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名初期化……お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.300

おしらせ

- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げ時のフォルダ名になります。

機能 定型文一覧画面

❶ 定型文一覧画面（P.351）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……定型文を編集します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.299

1件削除・全削除……定型文を1件または全削除します。

おしらせ

- 変更した固定定型文を削除した場合、お買い上げ時の内容に戻ります。なお、変更していない固定定型文は削除できません。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

- コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「コピー」または「切り取り」

❷ コピーまたは切り取りする先頭の文字にカーソルを移動▶●［始点］

❸ コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶●［終点］

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字を貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶α［機能］▶「貼り付け」

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

区点コードで入力する 〈区点入力〉

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

- 区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属の CD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

＜例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合＞

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「区点入力」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

❷ 区点コード2 3 3 6 を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉

お買い上げ時	未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録し、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角10文字、半角20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

新しい単語を登録する

❶ MENU 8 2

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

機能メニュー➡P.353

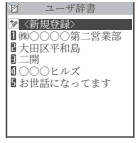
❷「＜新規登録＞」▶単語を入力▶読みを入力

おしらせ

- 改行、定型文は単語および読みに入力できません。
- 読みに濁点、半濁点以外の記号（、。？！・）は登録できません。
- 読みにスペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

単語の内容を確認する

❶ MENU 8 2



❷ 単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合

▶変更したい単語を反転▶✉［編集］

機能 ユーザ辞書画面

❶ ユーザ辞書画面（P.353）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……登録した単語を編集します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.299

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.300

次ページにつづく

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。
「複数選択について」→P.39

学習履歴を初期状態に戻す 〈学習履歴クリア〉

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

❶ MENU 3 5 ▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号……T9入力方式、「ワード予測」、「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。

かな漢字変換／顔文字……かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順をクリアします。

ダウンロードした辞書を使用する 〈ダウンロード辞書〉

お買い上げ時	未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。

- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.179

❶ MENU▶「ユーザデータ」▶「ダウンロード辞書」

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

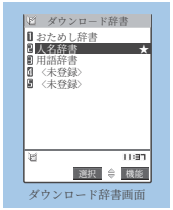
❷ 辞書を選択

有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ **無効に設定する場合**

▶「★」が付いている辞書を選択

無効に設定されて「★」が消えます。



ダウンロード辞書画面

機能メニュー➡P.354

おしらせ

- 顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、その辞書の顔文字が機能メニューの「顔文字入力」を選択したときの画面に追加され、最大600件（内蔵100件を含む）まで一覧表示されます。
- 顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

機能 ダウンロード辞書画面

❶ ダウンロード辞書画面（P.354）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……ダウンロード辞書のタイトルを変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

辞書ファイル設定……ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報……ダウンロード辞書の情報を表示します。

1件削除・全削除……ダウンロード辞書を1件または全削除します。

おしらせ

- ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

2タッチ方式で文字を入力する 〈モード2（2タッチ方式）〉

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。
たとえば「う」は、「あ行」の「あいうえお」の3番目なので、1 3と押します。

- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.395）をご覧ください。
- ワード予測で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.346

＜例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合＞

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶全角入力モードにする

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、ch で切り替えます。

❷ ひらがなを入力

1 1（あ） 2 2（き） 5 5（の） 2 2（き）
8 0（小文字入力モード） 8 1（や） 8 0（大文字入力モード） 0 3（ん）
6 3（ふ） 0 5（゛（半濁点））

T9入力方式で文字を入力する 〈モード3（T9入力方式）〉

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。
たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の6、「ら行」の9を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。

- 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.395）をご覧ください。
- T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな（漢全）」、「カタカナ（ｶﾅ全）」、「カタカナ（ｶﾅ半）」、「英字（英全）」、「英字（英半）」のときです。「数字（数全）」、「数字（数半）」では自動的に「かな方式」になります。

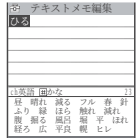
＜例：「春」と入力する場合＞

❶ 文字入力（編集）画面（P.344）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、ch で切り替えます。

❷ 文字を入力

6（は行） 9（ら行）



「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。

■ 入力した文字が多すぎる場合

認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、↩で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ 予測・変換候補の表示（かな／漢字）を切り替える場合

▶＃

■ 予測・変換候補の表示（英語／日本語）を切り替える場合

▶ch

❸

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

■ 文字の入力に戻る場合

▶CLR

■ 反転した読みに対する予測候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、↓（1秒以上）を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。
たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、α［変換］を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。
たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

次ページにつづく

❹ 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。

おしらせ

- T9 入力方式の場合、学習した予測候補が表示されるのは 1 文字入力時のみです。

● 読みを編集する

＜例：「らんらんと」と入力する場合＞

❶ 文字を入力

9（ら行）、0（わ行）、9（ら行）、0（わ行）、4（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

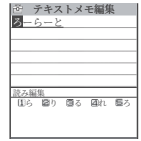
❷ ✉［読み］

読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

❸ 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1（ら）を押します。

文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。



■ 読みを修正しない場合

▶▷で次に修正する文字にカーソルを移動

■ 途中で編集を終了する場合

▶✉［戻る］

終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

T9 変換モードを設定する

お買い上げ時　T9 漢字変換モード

T9 入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字やカタカナに変換（T9 漢字変換モード）するか、ひらがなに変換（T9 かな変換モード）するかを設定します。

❶ MENU 3 5 ▶「T9 変換モード」▶「T9 漢字変換モード」または「T9 かな変換モード」